

## 千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

## 前 号 目 次

### 論 説

天皇空位年設定の意義……………江 口 冽(94)

中国語指示代詞の性格に関する再論……………王 瑞 来(1)

先秦時代の儒家と道家の言語に対する見方について  
一言と意の関係から……………郭 莉 莉(11)

副詞“也”の用法について……………椿 正 美(33)

### 研究ノート

倫理学とは何か〔2〕—西洋哲学、倫理学と関連して—  
……………浅 井 茂 紀(51)

抄録……………(95)